

# 令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 東国分小学校プラン

《学校の教育目標》豊かな心で、自ら学び、たくましく生きる児童の育成

《本年度 学校の重点目標》「みんなのために」と考え、生活をつくる子どもの育成

自分の課題からめあてをもち  
目的に応じて様々な場面で使  
うことができる子ども  
【つくる力】

状況に応じて習得した知識及び  
技能を使いこなし、新たな知識及  
び技能を創り出す子ども  
【つなぐ力】

学ぶ目的や意義もって自己  
調整しながら、粘り強く取り組む  
ことができる子ども  
【つらぬく力】

## 学びをつなぐ授業

①学力向上プラン「視点2」に記載

②ゴールを明確にし、補助的な発問・指示、シンプルな発問・指示を行い、言葉や実物などによる操作活動を行い、実感を伴った理解、概念的な理解ができるようにする。(国語、算数、毎時間)

【成果指標】「国語や算数の授業に関する「授業がわかる」「授業が楽しい」と答える子どもの割合が85%以上(市学力調査質問紙)

③ICTを活用して教材を提示、情報収集するなどした授業を行う。(毎日、3回以上)

④外国語科・外国語活動でのペアや自分の思いや考えを外国語で伝え合うような多様なコミュニケーション活動の工夫を行う。(毎時間)

## 笑顔の先生

①学力向上プラン「視点4」に記載

②教職員業務の効率化とICT化の推進、学年会(週1回)を充実させ、仕事の役割分担をはっきりさせる。(毎回)

【成果指標】教員の一人一役、学年会週に1回実施  
クロームブックによる授業づくりを1日3回、制作物  
の学年共有(児童評価)「授業が分かる」80%以上

## 協働する学校・家庭・地域

①地域学校協議会プラン「提言①」参照

②地域学校協議会プラン「提言②」参照

③学力向上プラン「視点4」に記載

## 楽しい学校

①「くるめアクションプラン」を遂行し、養護教諭と生徒指導サポーターと連携し、遅刻や連絡なしの子どもへの電話(毎日)をし、初期対応を行う。いじめ・不登校対策委員会で情報共有を行う。(月1回)「学校生活アンケート」(毎月)、「いじめアンケート」(学期に1回、合わせて教育相談、2者面談)を行い、いじめの早期発見・早期対応に努める。【成果指標】不登校児童12名以下、いじめに関しては、3ヶ月間の見守り期間で解決

②生徒指導部が「休み時間の安全な過ごし方・廊下の通り方」を提案し、全校で取組を行う。(学期に1回)

③縦割り班活動の充実し、高学年の子どもたちの自己有用感の育成を図る。(学期に1回以上)  
学級活動において、自主的な活動を重視し、人間関係力の育成を図る。(市調査、「学校が楽しい」70%以上)

## 【体力向上】

①柔軟性と俊敏性を高める運動を準備運動のはじめの3分間ほど行う。(毎時間)

②東国分小学校チャレンジ広場(長なわ、ドッジボールラリー等)、「1校1取組」運動  
・体力アップシート活用率:目標60%  
・スポコン広場登録学級数:目標5学級

## 【あいさつ・そうじ・自学自習】

①児童会から「あいさついっぱい運動」を提案し、全校で実施する。(年に1回)

②「素早く、静かに、すみずみまで(3s)」を合言葉に、みんなでいっしょに掃除に取り組む。(毎日)

③復習を中心にした「自学のすすめ」を作成し、学年ごとのメニューにそって実施・評価する。(毎日)

## 基盤として大切にすること(本年度の重点)

【人権・同和教育】「人権・同和教育の視点に立った指導のポイント」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。

【特別支援教育】「困難さのある児童生徒に対する支援の充実のために」を活用し、同学年や特支コーディネーターによる協働的な支援を行う。

【キャリア教育】キャリアパスポートを活用し、目指す自分を意識した学校生活を送り、自らの成長を実感できるようにする。